

Lindo-tomaco farm株式会社

石毛麻里子さんを紹介します



お住まい : 銚子市

就農した年 : 2006年 (継承)

栽培面積 : 施設野菜 80a
露地野菜 100a

栽培品目 : トマト、セロリ、ミニトマト (施設)
大根など年間50種類以上 (露地)

販売方法 : JA、直売所

就農したきっかけ

小さい頃から自分の家の野菜が大好きで、私が農園を継がなかったら、この美味しい野菜を食べられなくなるという思いから結婚を機に就農。

就農時の苦勞

- ・勤めていた時と異なり、定期的な休みがないこと。
- ・トマトの最盛期の収穫作業が、直ぐに収穫コンテナが満杯になり大変だった。

農園の名前の由来

父の代からトマト農家であり、トマトの原産国(南米)の共有語(スペイン語)から、「Lindo」は綺麗、可愛いという意味で、「tomaco」はトマトです。

農業で工夫していること

- ・自家製肥料や有機肥料による「土づくり」。
- ・自家野菜を農家レストラン「とまりこ食堂」で食材として活用するほか、食堂内直売コーナー等で販売。

今後の目標

- ・購入した古民家を改装し、デトックスを目的とした宿泊施設を夏頃オープン予定。
- ・料理教室の開催など「食と農」の架け橋をしたい。

お野菜クリニック とまりこ食堂



- ・マクロビオティックとの出会いから「野菜中心の食で体調を整える場」として開業。
- ・自家農園で採れる安心安全な旬の野菜をふんだんに使い、調味料を最小限にし、食材の味を生かす料理を提供。
- ・今採れる野菜により毎週メニューを変更。
- ・名前は「とま(トマト)・まりこ(店主)・りこ(りこピン)」を合わせて命名。

とまりこ食堂内での直売コーナー



- ・自家野菜やこだわりの調味料など